

第6号様式（第5の2関係）

議事概要

会議名	令和7年度第2回日置警察署協議会
会議日時	令和7年11月17日（月） 午後3時から午後4時30分まで
会議場所	日置警察署 会議室（道場）
出席者	1 警察署協議会 会長以下6人 2 警察署 署長以下8人

（会議の概要）

1 会次第

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 議題

ア 管内の治安情勢及び業務推進状況
イ 意見・要望について
ウ ミニ広報紙を活用した情報発信活動について（質問・答申）
エ 次回協議会開催日程について

- (4) 閉会

2 委員からの意見・要望について

- (1) 第1回協議会で意見・要望として出された「朝、江口漁協前をスピードを出して走行する車の増加に対するその後の警察の活動状況」について
(委員)

6月の第1回協議会で、江口漁協前の道路が国道270号線の抜け道として使用され、スピードを出す車が増えている件について、交通指導取締りのほか、パトカーの駐留警戒等のその後の活動状況について教えてほしい。

（回答）

江口漁協前における通行車両の速度抑止対策として、赤色灯を点灯させたパトカーの駐留や制服警察官の配置による街頭立哨など、運転手に緊張感を与える活動を7月から月1～2回の頻度で、早朝（午前7時から午前8時までの間）に実施した。

- (2) 日置署管内のうそ電話等の発生状況の具体例について

（委員）

日置署管内のうそ電話詐欺、SNS型投資詐欺、ロマンス詐欺等の発生状況の具体例を教えてほしい。

（回答）

当署管内で発生した特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の具体例について紹介する。

まず、特殊詐欺は、警察官などになりすまし、日置市の高齢女性に対して、犯罪の調査であるなどと、うその電話を複数回かけ、コンビニ敷地内に現金1,250万円入りのビニール袋を置かせて、それを持ち去ったという事件が発生している。

この事件では、現金持ち去り役のマレーシア国籍の26歳男を詐欺の疑いで逮捕している。

現金持ち去り役の被疑者を逮捕後、組織犯罪対策課や関係署で合同捜査を実施し、さらなる捜査により共犯のベトナム人被疑者を割り出して、本年10月に逮捕している。

次に、SNS型投資詐欺は、SNSで見つけた「株で資金が何十倍にもなる。」という投資関係の広告に興味を持ち、サイトにアクセスした後、アドバイザーなる者からSNSで言葉巧みに投資するよう勧められ、数回に分けて現金約300万円をだまし取られた事件、SNS型ロマンス詐欺は、SNSで知り合った人物と連絡を取り合ううちに好意を抱くようになり、相手から勧められた投資話に乗り、700万円相当の暗号資産をだまし取られた事件などが発生しており、現在も捜査中である。

SNSを利用したこの種の犯罪は、年々その手口が巧妙になっている。

有名人の成功話や恋愛感情を利用して投資などのもうけ話を持ちかけてきた場合

は、詐欺の可能性があるので、すぐに警察に相談してほしい。

(3) 通学路における交通安全対策について

(委員)

ア 伊集院小学校、中学校周辺の横断歩道では、特に雨の日は児童・生徒の送迎のため、通行車両が多くなり危険である。ボランティアの方々が見守ってくれているが、そのような方々がいない時は、通学する児童・生徒を見落としがちになる。

運転手だけでなく、横断歩道を利用する児童・生徒にも学校を通じてピンポイントで指導してもらい、お互いに気をつけるという関係を作っていただけるよう注意を払ってほしい。

(回答)

伊集院中学校、小学校周辺の送迎車両の件については、以前から承知している。学校側も極力徒步通学させるよう指導していると聞いているが、保護者からは様々な意見があるようで、車での送迎が続いている現状である。

雨の日の送迎車両により危険ということであるが、車が増えれば危険度が増すのは当然であり、現在、交番員が学校周辺の交通立哨を行っており、雨の日など危険度が高まることを考慮し、人数を考えてパト、伊集院交番員の配置、パトロールをしていきたい考えている。

併せて、学校周辺はスクールゾーンや30キロの速度規制など、それなりの児童保護のための対策が取られ、交通規制もなされているので、署の体制を見ながら交通指導取締りを行っていきたい。

イ 飯牟礼地区の農道について、以前から飯牟礼小学校のスクールゾーン委員会でもお願いしているところであるが、横断歩道があるのに、車が走りやすく、スピードを出した時になかなか横断歩道に気づかないようである。

先日も、児童が横断歩道で横断しようとしたので、車が止まったところ、後ろからきた車が3台ほど追突する事故があった。

これが仮に児童が横断中だったら危険なところもあるので、スピードの出し過ぎの車両についても指導してほしい。

(回答)

御意見の場所が横断歩道になっているということが、あまり周知されていないため、速度を出して、歩行者保護のために止まった車に追突するという事案が発生したのではないかと思われる。

前方に横断歩道があるという道路標示がきちんとされているか交通課の方で確認し、不備があれば必要な措置を講じることとする。

また、歩行者妨害の取締りや速度取締りも検討し、できることは実施していきたいと思う。

(委員)

関連意見として、協議会でも意見で出したことがあり、信号のない横断歩道は歩行者優先なので横断歩行者がいれば、車は止まらなければならないのに、なかなか止まらず、すごいスピードで通過することを申し上げ、パトロールしますとの答えをいただいたことがあるが、そこがなかなか改善されていない。

署の体制等事情があると思うが、なかなか改善されていないところもあることも理解してほしい。

(4) 伊集院小学校周辺の不審者情報の経過について

(委員)

伊集院小学校周辺で包丁を持った不審者がいたと中学校や各小学校から、一斉にメールが来たが、その後、どうなったか。

(回答)

不審者情報の件については承知しており、捜査を進めているが、今のところ不審者の特定に至っておらず、同時間帯の警戒や赤色灯を点灯しての警戒で対処しているところである。

3 ミニ広報紙を活用した情報発信活動について（諮詢・答申）

〈現状説明〉

ミニ広報紙は地域の事件事故の発生状況、うそ電話詐欺の被害防止対策や交通事故の防止対策、警察官の採用など様々な情報を発信する広報媒体として、交番・駐在所ごとに作成して、地域の皆さんに安全と平穏を確保していくために発行しているものである。

発行状況については、毎月1回発行しているが、事件・事故が発生し、皆さんに早急にお伝えする必要がある場合は、号外を発行している。

発行方法は、交番・駐在所の勤務員が編集・印刷をし、日置市の広報紙の配布日に合わせて、日置市を通じて地域の各班に配布している。

(委員)

ミニ広報紙自体は見やすくて、分かりやすい紙面となっている。

(委員)

夜間黒っぽい服装は運転手から見えにくいというミニ広報紙の記事を見て、私にも経験があり共感できた。

(委員)

日置警察署管内で発生した事件や被害状況などを可能な限り具体的に記事にすれば地域の人々も関心を寄せるのではないか。

(委員)

季節にあった内容であると思う。

(委員)

うそ電話詐欺対策のための携帯電話の操作方法など高齢者にも分かりやすい記事を掲載してはどうか。

また、高齢者の中には文字が見づらい方もいるので、防災無線と併用した広報を行ってはどうか。

(委員)

「盗難がありました。」、「変質者が出ています。」と見出しだけで終始しているので、もう少し具体的に記載した方が、地域の方々は身近な出来事して感じるのではないか。

資料を貼り付ける場合は、高齢者でも文字が読めるような大きさに拡大した方がよいと思う。

カラー印刷した原稿を白黒印刷すると見にくい部分も出てくるので、印刷する際は注意してほしい。

地域で活躍する交通安全などのボランティアの方々を記事にすれば、保護者からも感謝されるのではないか。

地域の話題で写真があればよいのにと思う記事があった。

各委員からの答申に基づき改善し、その結果を次回警察署協議会で報告することとした。

備 考	
-----	--